

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 LuLuキッズきらら館		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設での過ごし方やマナーを学ぶため、スーパーで買い物活動を行ったり、外食する機会を設けたりしている。 公共交通機関、大型バスを使用しての外出活動も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、社会体験活動として、公共施設や公共交通機関を利用する機会を設ける。 自立や自己決定につながる体験活動を積極的に取り入れていく。
2	子どもたち一人ひとりに合った支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 学年ごとではなく、子どもたちの段階に合わせたグループ編成、活動内容を行っている。 長期休暇だからこそできる活動内容を考え、個々の目標を設定しながら支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数であるため、きらら館はるやまの放課後等デイサービスとの交流の場を設け、普段より多い人数での活動も取り入れていく。
3	ファミリーサロンの実施	<ul style="list-style-type: none"> 親子で一緒に活動を行ったり、子どもたちの活動の様子を見ていただく機会として、ファミリーサロンを開催した。 茶話会を通し、保護者同士が連携し合える場を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けに希望する活動内容のアンケートを実施し、ニーズに合わせた活動を取り入れていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域に向けて発信する機会が少ない。 コロナ禍により交流を控えていたが、5類に引き下がった後、再度交流の場を設けるなど、体制の整備が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人のイベント時に、地域の方にもお越しいただけるよう発信していく。 児童館を利用したり、法人内の保育園や放課後等デイサービスと一緒に活動を行ったりする機会を設ける。
2	学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> 担任と話しをする機会が少ない。 学校への送迎時に子どもと一緒に待機している学校教諭とはやり取りを行っているが、各担任と細目に情報交換を行うことができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> きらら館での子どもの様子や支援内容、学校での様子について情報交換を行うことができるよう、必要に応じて、保護者の同意の基、面談の機会を設けていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所 LuLuキッズきらら館

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 6名

回収数 6名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	0	0		・子どもの様子や活動内容によって活動スペースを考慮し、状況に応じた環境構成への配慮を行っていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		・年度初めの行事や個別で職員数について、分かりやすく丁寧に伝えていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0		・玄関の段差においては、怪我につながらないよう、その都度声を掛けていく。今後状況によっては、段差への配慮を検討していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0		・清潔な空間で安心して過ごす事ができるよう引き続き配慮を行っていく。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		・保護者や子どもと好きなことや課題等についての情報交換を行い、1人ひとりの段階に沿った支援を実施していく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0		・事業所の様子や支援内容が保護者の方に分かりやすく伝わるよう、状況に応じて支援プログラムの内容を変更していく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		・アセスメントを実施する中で、保護者から子どもの様子や課題、目標を聴き取り、ニーズや課題の分析、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		・放課後等デイサービスガイドラインに沿って、引き続き、個々の発達段階や課題、目標に応じた支援内容を設定していく。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		・支援内容や子どもの現状等について、分かりやすく伝わるよう、丁寧に説明を行っていく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	0	0	0		・社会体験活動やコミュニケーションを図れる活動等、様々な経験、体験につながる内容を考慮し、個々の発達、課題に応じた支援となるよう配慮していく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	0	0	・児童館に行ったと話を聞いたことがある。	・児童館や福祉館の利用、イベントの実施を通して子どもが楽しみながら地域の方と交流したり、活動したりできる場を設けていく。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		・見学時や契約時に活動内容や利用者負担額については説明を行い、同意を頂いた上で支援を実施している。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		・放課後等デイサービス計画について、ガイドラインの提示と共に、支援内容や目標等について具体的に説明を行い、同意を得た上で支援を実施していく。共通理解の基、支援を実施することができるよう心掛けていく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	0	0		・親子活動の機会を通して情報提供の場を設けることはできたが、研修会の実施ができなかったため、今後実施を検討していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		・面談や送迎時等を通して、日々の活動の様子や課題、体調面等について丁寧に伝え、共通理解を図っていく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		・アセスメントやモニタリングの面談、送迎時を通して子どもの様子や課題、目標等の必要な情報を伝えている。保護者からの相談や悩みについて直接口頭でその都度助言を行うようにしていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		・保護者のニーズや思いを聞きながら、子どもの経験に繋がる活動を実施していく。また、面談や送迎時等の中で密に情報共有を行っていく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	0	0		・保護者会は毎年3月に実施している。 ・保護者同士の交流の場については、親子活動の時に茶話会を実施した。今後は、茶話会や家族支援プログラムを通して、保護者同士の連携の機会を作っていく。 ・保護者会を通して、年間の計画や目標、周知事項について伝達していく。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0		・相談等があった際は、迅速に職員間で話し合い、その都度丁寧に対応できるよう、心掛けていく。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		・送迎時や面談等を通して、子どもの様子や支援内容等の情報伝達ができるよう、配慮していく。送迎時や行事の中で直接話ができる機会を十分に設けていく。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子や活動内容がより具体的に伝わるよう、発信していく。 ・インスタグラムの投稿が少なかったため、投稿回数を増やし、より具体的に子どもの様子や支援内容が伝わるようにしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについて、十分な配慮を行っていく。 ・ホームページ、インスタグラム、パンフレットへの記載については、同意を得た方のみ記載をしている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるようにしていく。 ・感染症や災害時等、場面を想定した訓練を定期的の実施していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回火事や地震、土砂災害等の場面を想定した避難訓練を実施し、訓練の様子について送迎時やホームページにて保護者へ伝えていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時の説明に加え、面談や行事の際を通して安全を確保するための計画について説明を行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我をした際は状況や処置内容についてコドモンや送迎時にて説明を実施していく。また、事故が発生した場合は、保護者や関係機関（病院、園等）に速やかに連絡し、説明、対応を行っていく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや職員とのかかわりや活動に安心して取り組むことができるよう、子どもの気持ちに寄り添いながら支援を実施していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な体験ができるので楽しそうです。 ・自立に向けた取り組みを行う中で生きる力を培ったり、社会体験活動やお友達との交流等、子どもたちが学びや達成感、満足感を感じながら過ごしたりすることができるよう、支援を実施していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親子に寄り添い、子どもの成長と一緒に見守って下さっていて安心して利用しています。 ・子どもの様子について保護者や関係機関と密に情報交換を行い、共通理解の基、支援を実施することができるようにしていく。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	多機能型事業所 LuLuキッズきらら館				公表日 令和7年2月28日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用人数に対して、訓練室等のスペースを十分に確保し、支援を行っている。 ・子どもの様子や活動内容によって活動場所を考慮したり、パーティションで空間を区切ったりしている。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員の配置基準においては、配置基準を満たしている。 ・状況によって個別対応もできるよう、職員を配置している。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・安心、安全に過ごすことができるよう、配慮している。	・現在スロープ等は設置されていない。階段は手すりを設置している。今後必要であれば、子どもの状況や様子に応じてスロープ等の設置を検討していく。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・館内の清掃、整理整頓、清潔な環境作りに心掛けている。 ・活動内容によって使用する空間を選択している。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・子どもの気持ちが崩れたり、高揚したりした際は環境を変えて落ち着くまで過ごす等、活動内容や状況に合った部屋の使い方ができるようにしている。	
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・支援内容や業務に対する目標、課題を挙げ、振り返りや見直しを行い、職員間での共有、改善に努めている。	
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者等向け事業所評価表を実施し、意見を基に話し合いを行い、改善に取り組んでいる。 ・保護者からの意見を把握した上で業務や支援にあたっている。	
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会議やケース検討の中で意見を述べ合い、職員全体で把握、業務改善を行っている。	
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は実施できていない。	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・子どもたちの活動の幅を広げることや支援の質の向上につながるよう事業所内研修、外部研修を取り入れている。また、子どもの様子や感染症、世間で頻りに起こっている事故等、現状に合わせて研修内容を検討し、実施している。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・今年2月に公表している。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントを実施し、子どもの様子や課題、保護者のニーズを踏まえた上で、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・アセスメントで保護者から聞いた子どもの様子や保護者のニーズを支援に携わる職員に伝え、目標や支援内容について検討した上で作成している。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・利用開始前に放課後等デイサービス計画についての周知を行い、支援を実施する担当職員がそれぞれの放課後等デイサービス計画を把握した上で計画に沿った支援を行っている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・共通したアセスメントシートを使用し、子どもの発達段階や様子、課題の把握に努めている。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・放課後等デイサービスガイドラインのそれぞれの項目に対し、職員間で意見を挙げながら、放課後等デイサービス計画の作成、個々の段階に沿った支援内容を検討している。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・年間計画に沿って活動案を検討し、個別支援計画を踏まえながら個々の段階に合ったプログラムを計画、実施している。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・年間計画や各月の目標に沿って立案している。 ・休日や長期休暇だからこそできる目標や取り組みを子どもと話しながら決めたり、子どもたちの段階や課題に沿った体験学習をより多く取り入れたりしている。	
業務改善					
適切な支援の提					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせた計画となるよう配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前に活動の目的や内容について周知し、共通理解の上で活動を実施できるようにしている。	・活動案や目的等の周知が当日の朝になってしまうことがあるため、早めに周知を行うようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後に支援内容や子どもの様子、課題等について振り返ったり、情報共有を行ったりしている。	・支援後に振り返りを行うことが難しい日もあった。着実に振り返り、改善ができるよう職員間で声を掛け合っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・活動の反省、評価や子どもの様子について、日々記録を取ることを徹底し、改善点や気付きについてケース検討やミーティングを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・個別支援計画の時期に合わせてモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・4つの基本活動が組み合わせられた支援になるよう、子どもの様子や自立を見据えながら日々の活動内容や体験活動を実施している。	・地域との交流の場が少ないため、児童館の利用やイベントの実施を通して交流できる機会を作っていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・子ども同士で話し合っ決めてる機会や自分で選択する機会を設け、自己選択、自己決定する力につながるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理責任者や児童の担当職員を参画させ、事業所での子どもの様子や支援内容等を伝えている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・子どもに合ったかかわり方、情報共有ができるよう、連絡会で情報交換を行ったり、必要に応じて連絡を取り合い、連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	・送迎時に下校時間の変更や行事等についてやり取りを行っている。 ・疑問点やトラブル発生時には電話連絡にてなるべく早く行えるようにしている。	・子どもが待っている場所で一緒に待機している学校教諭とは話す機会がほとんどない。各担任と話しをする機会が少ない。必要に応じて面談等の機会を設けていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・子どもの様子や課題等について情報共有、相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・現在対象児童はいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・地区連絡会の中で情報交換を行い、事業所の取り組み、子どものかかわり方等についてやり取りを行う機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・地域の公園や公共施設を利用する機会を設けたが、交流はできていない。	・児童館や福祉館の利用、イベントの実施を通して子どもが楽しみながら地域の方と交流したり、活動したりできる場を設けていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・参加ができていない。地区連絡会へは参加し、情報交換、共有を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎や面談時、コドモンを通して、日々の支援の様子や課題、目標等についての情報交換、共通理解を図っている。 ・親子活動の場を通して、子どもの様子を伝え合えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・親子活動の機会を通して情報提供の場を設けることはできたが、研修会の実施ができなかった。	・今後実施を検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・見学時や契約時に活動内容や利用者負担額等について説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントの際に保護者のニーズや子どもの様子を細かく聞き取る中で意向を確認し、放課後等デイサービス計画に反映するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・保護者へ説明を行い、同意を得た上で支援を実施している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者からの相談や悩みに対し、面談を実施したり電話連絡を行ったりし、その都度子どもの様子や課題についての情報交換、助言を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者同士の交流の場については、親子活動の雨に茶話会を実施した。 ・保護者会を通して、年間の計画や目標、周知事項について伝達している。	・今後は茶話会や親子活動の機会を通して、保護者同士の連携の機会を作っていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情、ご意見等があった際には、全職員で迅速に対応方法を検討し、見直しや改善、周知を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・子どもの様子や活動内容がより具体的に伝わるよう、発信している。	・Instagramの投稿が少なかったため、投稿回数を増やし、より具体的に子どもの様子や支援内容が伝わるようにしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取り扱いについては配慮を行っている。 ・ホームページ、Instagram、パンフレットへの記載については、同意を得た方のみ記載をしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・必要に応じて写真や動画を用いて子どもの様子を伝達し、より分かりやすく具体的に伝わるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・法人イベントを開催し、地域住民を招待する機会を設けた。	・今後も地域に開かれた事業運営を図っていく。
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを策定している。 ・火災や地震、自然災害等の場面を想定した訓練を実施し、訓練時の子どもの様子について保護者に伝えている。
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、消防署立ち会い訓練を年2回、自主訓練を年2回、計年4回実施している。訓練後、反省、改善点について話し合い、発生時に迅速に対応できるように努めている。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・服薬についてはコドモンにて確認を行い、予防接種やてんかん発作等の状況については保護者に確認後、周知を行っている。	
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者へ、医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。また、実施後は改善点について話し合い、安全管理に努めている。	
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・子どもが安全に過ごすことができるよう、保護者会等で周知を行っている。	・安全計画について周知のみではなく、保護者が来館時に閲覧できるよう掲示も検討する。
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット報告書を作成し、対応についての検討や共有を行っている。	・ヒヤリハットの内容についての情報交換はできているが、報告書の作成後、改善点についてのミーティングを実施できていないことがあったため、その都度共有や改善点の検討の場を設けていく。
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部講師を招いて事業所内での研修を実施し、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束については行っていないが、身体拘束についてのマニュアルを策定し、体制を整えている。		